

### 夏の販売学習（松原分校）

毎年恒例の松原市場&育友会バザーが開催されました。松原市場では児童生徒が店員になり、自分たちが育てた新鮮な野菜や手作り小物などを販売しました。子どもたちは、緊張しながらも「いらっしゃいませ」「50円のおつりです」「ありがとうございました」などの掛け声だけでなく、お客とのコミュニケーションもがんばっていました。用意した商品はほぼ完売し、「けっこう売れた」と喜んでいました。参加された保護者や地域の方々も子どもたちの懸命な姿を優しく見守っておられました。



### 学校計画訪問スタート（須恵小学校）

市教育委員会の学校計画訪問がスタートしました。1学期に7校、2学期に9校と1園の訪問を予定しています。須恵小学校では、校長先生が学校経営等について説明されたり、モジュール学習や朝読書、全教員の授業が公開されたりしました。子どもたちは、どの学年でも共通する学習時の約束事（須恵小スタンダード）を守りながら、落ち着いて学習に取り組んでいました。また、タブレット端末を活用した学習も進められており、考えを広げたり深めたりすることや学習意欲の向上も図られています。



### 地域人材を生かした歴史講座（埴生中学校）

学校・地域連携カリキュラムの1つとして、埴生・津布田地域の歴史学習が地域交流センターで実施されました。中学1年生と地域の方が、地元の郷土史家から地域にある史跡や歴史上の人物などについて詳しく話を聞きました。参加した生徒は「知らなかったことが説明を聞いてよく分かった。特に和泉式部の墓のことが印象に残った」と話していました。子どもたちが地域の方と一緒に学ぶ取組は初めての試みであり、地域交流センターが学校に隣接していることを生かしたものです。地域の力を生かしたふるさと学習は、ふるさとに愛着をもつ第一歩になると思います。

